

## 会 議 録

1 会議名

令和7年度 第6回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

報告事項（公開）

（1）和田・三郷区新保育園整備事業の取組状況について

3 開催日時

令和8年2月18日（水） 午後6時30分から午後7時3分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：秋山会長、  
阿部委員、近藤（浩）委員、近藤（美）委員、齊藤委員、角谷委員  
西片委員、西田委員、牧田委員、山岸委員、渡邊委員（欠席3人）
- ・ 幼児保育課：徳永副課長
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、小池副所長、石黒係長

8 発言の内容

【石黒係長】

- ・ 泉委員、高橋委員、横田副会長を除く11人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

【秋山会長】

- ・ 会議の開会を宣言

- ・ 会議録の確認：近藤（浩）委員に依頼

— 次第2 報告事項（1）和田・三郷区新保育園整備事業の取組状況について —

【秋山会長】

次第2 報告事項（1）和田・三郷区新保育園整備事業の取組状況についてに入る。

担当課に説明を求める。

【幼児保育課：徳永副課長】

- ・ 資料No.1により説明

本題に入る前に上越市における出生数、生まれてくるお子さんの人数の変動について簡単に説明したい。現在、全国的に少子化が想定以上の速さで進行していることが話題となっているが、上越市も例外ではなく、減少が非常に著しい状況にある。今から約20年前の平成16年頃では、年間の出生数は1,859人であった。その10年後の平成26年においては、1,446人ということで、この時点で400人程減少している。さらに令和6年においては、いよいよ1,000人を切って920人となり、今年度においては、その900人も下回る見込みとなり、20年前と比較すると約半数になってしまっている状況にある。現在の推計によると、この少子化の動向はさらに加速していくのではないかとされている。

児童数の減少をはじめ、昭和40年代、50年代に建設した保育園がまだ市内には点在しており、この和田地区においても例外ではないが、そのような施設の老朽化や、昨今の働き方の変化による保育ニーズの多様化など、いろいろな社会的な要因がある中で、市ではより適正で良好な保育環境の整備に取り組んでいる。

令和6年2月に策定した保育園の適正配置等に係る第4期計画において、児童数の減少または施設の老朽化などの課題を解消し、より良好な保育環境の提供の実現を図るため、城西中学校区内の大和、和田、三郷の三つの公立の保育園を統合し、新しい保育園を移転整備することとした。その後の取組として、統合園の建設候補地について検討を行い、和田・三郷区の新保育園については、人口分布や周辺から

の交通アクセス、または、災害に対する安全性などを考慮した上で、統合対象園の保護者の皆さんとの意見交換または意向調査等を行った結果を踏まえ、大和小学校周辺を建設候補地とし、市の関係課や地元の関係者との協議を進めているところである。

資料No.1の中ほどの地図において、大和小学校が中央に描かれている地域を中心に、地域周辺を有力な候補地として考えている。この周辺には都市計画道路が走り、また、新幹線駅が近く、矢代川があるといった地理環境になるが、人口分布や交通アクセス、災害に対する安全性等を総合的に考慮し、この場所を選定した。また、建設候補地の大和小学校周辺全域が民有地、個人が所有する土地であり、今後、地権者との交渉等を控えていることから、具体的な所在地の公表には至っていない。

この建設候補地の地権者に関する詳細な調査、あるいは、関係者との協議を行う中で、候補地の一部にいわゆる地権者がわからない、いわゆる所有者不明土地があることが判明した。市としては、法的にも適正に保育園用地を取得する必要があると考えており、日数を要したとしても関連する法令の規定に基づいて、正式な手続きを進めたいと考えている。具体的には、所有者不明土地の管理命令にかかる裁判所への申立て及び裁判所から選任された管理人、この方が地権者の代理となるが、それらの方々との土地の売買に向けた事前交渉を弁護士から支援いただきながら行うこととした。この法的な手続には、短くても1年程度を要する見込みであり、引き続き令和8年度も所有者不明土地を含む保育園用地の取得に向けた事前調査を実施することから、そのほかの土地も含めた地権者との用地交渉については、調査の完了後にずれ込む見通しである。まずは影響のある地権者をはじめ地元町内会にも、このような状況を丁寧に説明させていただきたい。

なお、和田・三郷区の新保育園整備事業の進捗状況が、保育園用地の取得に向けた事前調整の段階にあり、現時点において正確な開園の時期というものをお示しできない状況にある中、さらにもう一点、留意しなければならないのは、統合予定の三つの保育園、大和、和田、三郷の維持管理である。いずれも建築から40年から50年を経過し、耐用年数も超過していることから、老朽化が著しい状況にあることは十分に認識しており、ほかの公立保育園と同様に、もしくはそれ以上に計画的

で効果的な修繕を実施しなければならないと考えている。各保育園に勤めている職員、保育士、調理員、保育園士とも綿密な連携を図りながら適切な維持管理に努め、安全で快適な保育環境の確保に努めてまいりたい。

**【秋山会長】**

今ほどの説明に対し質疑を求める。

**【近藤（浩）委員】**

質問が2点ある。1点目、大和小学校の前の道路が非常に狭い。そこを大きな工事車両が通ることになると思うが、近隣の住民にとっては厳しいというか危ない。バイパスのほうから入って大和4丁目地内を回って行くにしても大和小学校前の細い道路は通るだろうから、その狭い道路をどうやって上手く回していくのか。新しい保育園ができると通園バスが通ると思うが、そのバスも細い道を通ることになると思うので、その対策を教えてください。

2点目、現在の保育園をしっかりと維持されていくというお話だが、今現在、大和保育園がキャパオーバーだと聞いている。トイレに行くにしても行列になるという。新しい保育園ができるのが4年か5年後、在園児は新しい保育園を見ることなく今の環境でさらに4年間も過ごすのは少しかわいそうかなと思うので、その対応を聞きたい。

**【幼児保育課：徳永副課長】**

1点目の工事に伴う工事車両の問題の件だが、まだ、具体的な候補地の場所を特定できていない中で、本当に申し訳ない話だが、極力、北国街道への細い道は通らないやり方でいずれにしても検討しなければいけないと考えている。小学校のスクールゾーンでもあり、新保育園の整備期間においても現在の大和保育園は運営しているので、安全への配慮を最優先に考えなければいけない。具体的には、東側の都市計画道路を工夫しながら、また、工事事務所の配置についても地元の方々と調整しながらしっかりと配慮したい。

通園バスの対応については、まず基本となるのが通園バスのニーズがどれだけあるかであり、改めて地域や保護者の皆さんと協議させていただきたいと思っている。もし通園バスを走らせるのであれば、当然その通園路もしっかりと検討させていた

だきたい。市内でも、私立園を含め、いくつかの保育園で通園バスを走らせているが、自己負担や昨今のいろいろな通園事情により、通園バスを使わずに直接保育園に送迎される保護者のほうが多い。通園バスそのものが本当に必要かどうかは、新保育園を整備する中で、しっかりと調べなくてはならないことから、順序立てて、検討していきたいと考えている。

大和保育園は市内でも2、3番目くらいに古い保育園で、衛生面や周辺環境も含めて様々な問題があるということは十分承知しているが、例えば、一つ修理するにしても、優先度等を十分に考慮する必要がある、当然予算の範囲内にはなってしまうが、何年か先に統合するのだから修繕はしなくてよいという考えは一切ない。むしろその辺はしっかりと対応させていただきたいと考えている。

**【齊藤委員】**

各保育園の園児数は現在どれくらいか。

**【幼児保育課：徳永副課長】**

概数だが、大和が80人、和田が40から50人、三郷が20人くらいである。

**【齊藤委員】**

自分の子どもが通っていた時は保育料を払っていたものだが、今はどうか。

**【幼児保育課：徳永副課長】**

3歳以上児では無償化された。未満児は徴収している。

**【齊藤委員】**

小学校・中学校・高校が無償化という言葉聞くので確認した。

**【西片委員】**

先ほど近藤（浩）委員から工事車両の安全面の話が出たが、今年は非常に雪が多いので、旧道、あるいは、東側の道路も一本道になってしまった。除雪をきちんとしていただかないと保護者の送迎が困難になるので、それも検討していただきたい。

また、統合後に元の園舎をどうするのか聞きたい。

**【幼児保育課：徳永副課長】**

除雪の対応について、新保育園にかかわらず現時点でも、今回のような大雪の際に一時的とはいえ交通に支障が生じるということは、課題として捉えている。市の

都市整備部とも連携を測りながら、よりスムーズに除排雪ができるような取組について、情報共有を図りながら進めていきたい。当然、新しい保育園ができてからも含め、継続的に対処する予定である。

統合後の保育園の考え方だが、まずは市関係課の中で、ほかの公共的な施設として使えるかどうか検討する。それと平行して地域としても何か活用する希望があるか伺った上で、いずれも結論に至らなかった場合は、現在の基本的な取組の一つのやり方としてはサウンディング調査といって、広く民間などいろいろな方向に「こういう施設があるが何か使い方がありませんか」という提案を広く求める制度がある。全庁的な取り組みの一環として、サウンディング調査も念頭に置きながら、いずれにしても地域の皆さんも納得できる形で展開ができるように進める。

**【齊藤委員】**

石沢にある土地改良と和田公民館がかなり古い。今の上箱井の和田保育園のところを活用できればよいのではないかと思う。新しく建てるのでは、費用対効果もよくないと思うので、なるべく経費をかけないで有効に使えばよいのではないかと思う。

**【幼児保育課：徳永副課長】**

保育園は、子どもの目線で造っているので、多少なりの改修等は必要だと思うが、地理的条件、特に面積的にも十分な敷地があるので、有効な案の一つだと思う。

**【秋山会長】**

保育園は民間でも使いやすい規模なので、活用する方向で地域で話をしていくというのは面白いと思った。

以上で、次第2 報告事項(1) 和田・三郷区新保育園整備事業の取組状況についてを終了する。

(幼児保育課退席)

— 次第3 事務連絡 —

**【秋山会長】**

次第3 事務連絡に入る。

事務局より説明を求める。

**【石黒係長】**

- ・当日配布資料No.1により説明

今現在はあくまで予算案で、3月の市議会での議決をもって成立する。

**【秋山会長】**

地域協議会の場で団体から説明を受けた「エンジョイフェスタ開催事業」が予算化されたので、新しい動きとして嬉しいと思っている。ぜひこれからも関心を持って見守っていただきたい。

**【小池副課長】**

- ・今後の地域協議会の日程連絡

令和7年度 第7回地域協議会：3月18日（水）18：30から

令和8年度 第1回地域協議会：4月15日（水）18：30から

会場：ラーバンセンター第4研修室

**【秋山会長】**

- ・ただ今の説明について質問を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。